

【LINE NEWS】2021年を彩る「話題の人」「記事」「メディア」を表彰する、NEWSの祭典「LINE NEWS AWARDS 2021」を12月8・9日に開催！今年は“来年NEWSになりそうな人”を表彰する「NEXT NEWS賞」を新設

2021.11.24 メディア関連サービス

本日「話題の人賞」7部門35組および「LINEジャーナリズム賞」のノミネートを発表！
「NEXT NEWS賞」には、エンタメ界で活躍する特別アドバイザーらの参画も

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、芸能・文化・スポーツ・音楽など各分野でNEWSになったその年を彩る“話題の人”を表彰する「話題の人賞」、社会課題を工夫して伝えた“記事”を表彰する「LINEジャーナリズム賞」、LINEユーザーに支持された“メディア”を表彰する「LINEメディア賞」をLINE NEWSが独自の基準で選出・表彰する、NEWSの祭典「LINE NEWS AWARDS 2021」を12月8日（水）9日（木）に開催することを決定、本日、同アワードにおける「話題の人賞」7部門 35 組および「LINEジャーナリズム賞」10記事のノミネートを発表いたしましたので、お知らせいたします。



■「LINE NEWS AWARDS」とは

LINE NEWSでは2018 年より、芸能・文化・スポーツ・音楽など各分野で NEWSになったその年を彩る“話題の人”を表彰する「話題の人賞」、社会課題を工夫して伝えた“記事”を表彰する「LINEジャーナリズム賞」、LINEユーザーに支持された“メディア”を表彰する「LINEメディア賞」をLINE NEWSが独自の基準で選出・表彰するNEWSの祭典「LINE NEWS AWARDS」を開催しております。

今年から新たに「話題の人賞」に、ソーシャルメディアをはじめとした各メディアで活躍するインフルエンサーやクリエイターを表彰するクリエイター部門を加え、さらに“来年NEWSになりそうな人”を表彰する「NEXT NEWS賞」を新設いたしました。「NEXT NEWS賞」では、LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などに加え、エンターテインメント界でクリエイター・プロデューサー・表現者として活躍し、世に放つ作品が常に評価と注目を集める方々を特別アドバイザーとしてお招きし、定量・定性の両面で選考を行います。今年は、映画監督の岩井俊二氏・テレビプロデューサーの佐久間宣行氏・音楽プロデューサーのつんく♂氏に特別アドバイザーとして参画いただき、3名の受賞者を選出いたします。

また、「LINEジャーナリズム賞」では、元TBS報道キャスターで白鴎大学特任教授の下村健一氏、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の治部れんげ氏、ウェブメディア「DANRO」編集長の亀松太郎氏、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之氏に特別アドバイザーを務めていただいております。

今年は初の連日開催となり、12月8日（水）に「話題の人賞」と「NEXT NEWS賞」の受賞者が一堂に会する表彰式を、12月9日（木）に「LINEジャーナリズム賞」と「LINEメディア賞」の表彰式を行います。各賞の発表の様子は、オンラインにて配信されます。配信の詳細スケジュールやURLは以下の特設ページより順次ご案内いたします。

「LINE NEWS AWARDS 2021」特設ページ：<https://news.line.me/newsawards/2021/>

■「話題の人賞」

LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などを基に、LINE NEWSが独自に選出した「アイドル部門」「アスリート部門」「アーティスト部門」「クリエイター部門」「タレント部門」「俳優部門」「文化人部門」の7 部門35組のノミネートの中から、各部門で最も LINE NEWS上での話題をさらった1組を表彰いたします

2021年の「話題の人賞」ノミネートは以下の通りです。

話題の人賞

アイドル部門	アスリート部門	アーティスト部門	クリエイター部門
ENHYPEN Kis-My-Ft2 櫻坂 46 JO1 BLACKPINK	阿部 一二三・阿部 詩 大橋 悠依 国枝 慎吾 堀米 雄斗 水谷 隼・伊藤 美誠	Awesome City Club 中村 佳穂 Vaundy 藤井 風 マカロニえんぴつ	QuizKnock HIKAKIN 松丸 亮吾 丸山 礼 ロイ
タレント部門	俳優部門	文化人部門	
かまいたち マヂカルラブリー 見取り図 村方 乃々佳 生見 愛瑠	北村 匠海 清原 果耶 永野 芽郁 山田 裕貴 吉沢 亮	ウォーリー木下 大友 啓史 が〜まるちょば HIRO-PON・GABEZ 佐久間 宣行 土井 裕泰	
※五十音順			

■「NEXT NEWS賞」※新設

“来年NEWSになりそうな人”を表彰いたします。LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などに加え、エンターテインメント界でクリエイター・プロデューサー・表現者として活躍し、世に放つ作品が常に評価と注目を集める方々を特別アドバイザーとしてお招きし、定量・定性の両面で選考を行います。今年は、映画監督の岩井俊二氏・テレビプロデューサーの佐久間宣行氏・音楽プロデューサーのつくも氏に特別アドバイザーとして参画いただき、3名の受賞者を選出いたします。

NEXT NEWS賞 特別アドバイザー



岩井 俊二



佐久間 宣行



つくも

■「LINEジャーナリズム賞」

2021年、LINE NEWSで配信された300万本を超える記事の中から、記事閲覧数・ユーザーのアクションなどをベースに、「LINEで社会課題を工夫して伝える」という観点に基づき独自に選出した10記事のノミネートの中から、特に優れた1記事が表彰されます。今年は、元TBS報道キャスターで白鷗大学特任教授の下村健一氏、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の治部れんげ氏、ウェブメディア「DANRO」編集長の亀松太郎氏、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之氏に特別アドバイザーを務めていただいております。

2021年の「LINEジャーナリズム賞」ノミネート記事は以下の通りです。

LINEジャーナリズム賞 ノミネート

- 「**楽にカネ稼ぎたい**」特殊詐欺に加担、19歳の転落（秋田魁新報）
- 「**DASH村**」人が住めなくなると10年、春には学校も…時計は止まったまま（朝日新聞withnews）
- **音に反応しなくなった聴導犬レオン** 最期まで一緒に、私の恩返し（朝日新聞デジタル）
- 【アニメで戦争の記憶継承】「この世界」片渕監督―戦争を直接知らないからこそ、伝え続ける意義がある（アニメ!アニメ!）
- 「**私たちが福島を取材する意味って何だろう**」悩みながら伝えた高校生記者たちの10年（京都新聞）
- **原爆ドームは誰が名付けた？1人の記者が行きついた 歴史に隠された真実と意外な答え**（テレビ新広島）
- 「**怖い、でも患者のために…**」コロナに感染した看護師の葛藤（長崎新聞）
- 「**まるで桃鉄**」コロナで仕事も家庭も失った…炊き出しで食いつなぐ年末年始。鳴り響く静かなSOS（バズフィード）
- 「**見える人**」を演じてた。拒んだ白杖、高3で握ったスケートボーダーの決意（ハフポスト日本版）
- **彼らはなぜ、死と隣り合わせの現場に向かったのか**（福島中央テレビニュース）

■「LINEメディア賞」

新聞社やテレビ局、ファッション誌やビジネス誌など370以上のメディアが厳選したニュースを配信する「LINEアカウントメディア」。参画メディアを13ジャンルに分け、各メディアの配信に対するユーザーの満足度を、独自の指標で「エンゲージメントランク」としてランキング化。1年を通して、各ジャンルで特に高い支持を得たメディアを表彰いたします。

LINEでは、今後も様々な取り組みを通じてユーザーにとって価値のある情報接点を提供するとともに、メディア各社との連携を強化することで、コミュニケーションプラットフォームとしての更なる成長・拡大を図ってまいります。

スマートフォン時代の新しいニュースの形を追求する「LINE NEWS」は、7,700万人^{*1}の月間利用者数を擁し、月間PV数は154億^{*1}を突破しております。また、1,100を超えるパートナーメディアとともに、1日10,000件以上^{*2}のコンテンツを7,700万人のユーザー一人ひとりにパーソナライズし配信する、国内最大規模のコンテンツプラットフォームとして成長を続けております。
*1：2021年8月時点 *2：2021年6月時点
